

令和6年9月25日

土佐国道事務所

国道33号 越知道路（2工区）バイパス区間 開通1年後の交通状況と整備効果について

令和5年6月10日（土）に開通した国道33号越知道路（2工区）バイパス区間（高知県高岡郡越知町越知丙～越知丁）の開通1年後の交通状況と整備効果についてお知らせします。

【開通1年後の交通状況】

- 越知道路（2工区）バイパス区間開通後の断面交通量（平日）は **5,500 台/日**。
- 内、**5,100 台/日**が安全で信頼性のある越知道路（2工区）バイパス区間を利用。

【開通による整備効果】

- 効果①：災害危険箇所の回避による **安全・安心な交通の確保**
- 効果②：急カーブ箇所の回避による **安全性・快適性の向上**
- 効果③：走行性向上による **救急医療活動の支援**
- 効果④：通勤環境の改善による **介護サービスの支援**
- 効果⑤：物流搬送の安定性向上による **地域生活の支援**

土佐国道事務所ホームページ <https://www.skr.mlit.go.jp/tosakoku/>X（旧 Twitter）情報 https://twitter.com/mlit_tosa/

ホームページ



X (Twitter)

本施策は、四国圏広域地方計画の広域プロジェクト【No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト】の取組に該当します。

（発表先）高知県政記者クラブ

問い合わせ先 （○主な問い合わせ先）

国土交通省 四国地方整備局 土佐国道事務所 TEL 088-884-0359（代表）

副所長（改築） やぎ 八木 まさはる 雅治 （内線204）○計画課長 みやなか 宮中 みちた 道太 （内線261）

土佐国道事務所（とさこく）

- 国道33号 越知道路（2工区）は、地すべりや落石などの**災害の危険性を解消し、急カーブ箇所を回避**することで、**安全で信頼性のある幹線道路の交通機能の確保**を目的とする道路です。
- このうち、**バイパス区間（延長1.8km）**が、**令和5年6月10日（土）に開通**しています。
- 引き続き、**災害の危険性解消**などに向け、残る区間の事業を推進します。

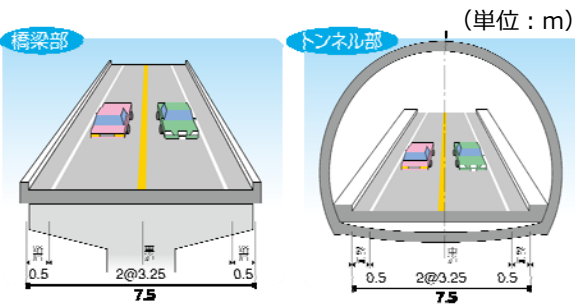
◆位置図



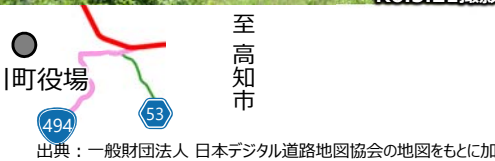
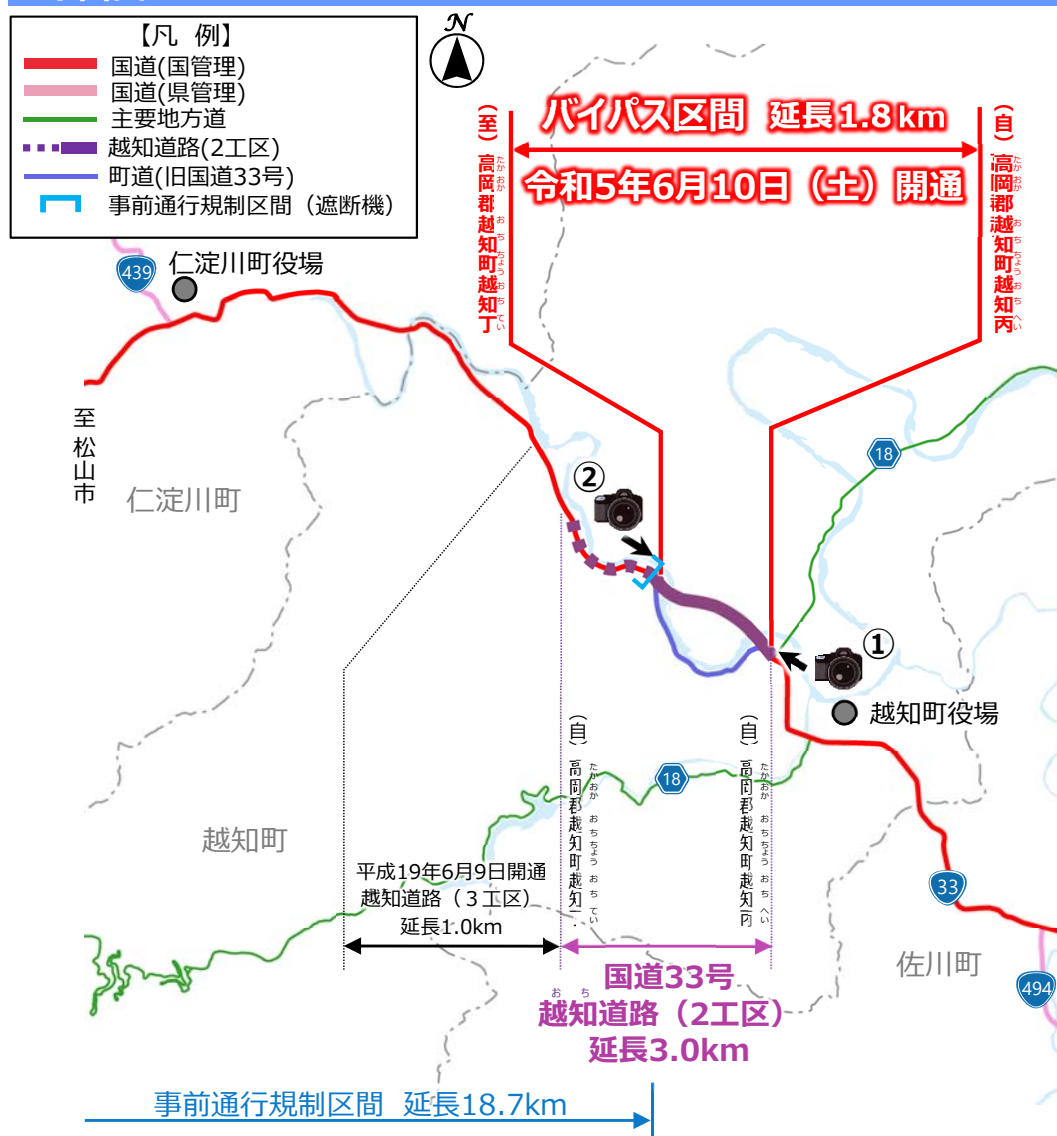
◆事業概要

事業着手	平成20年度
区 間	自) 高知県高岡郡越知町越知丙 至) 高知県高岡郡越知町越知丁
延 長	3.0km（開通区間1.8km）
構造規格	第3種第2級（車線数：2車線） 設計速度：60km/h 標準幅員：7.5m

◆事業概要

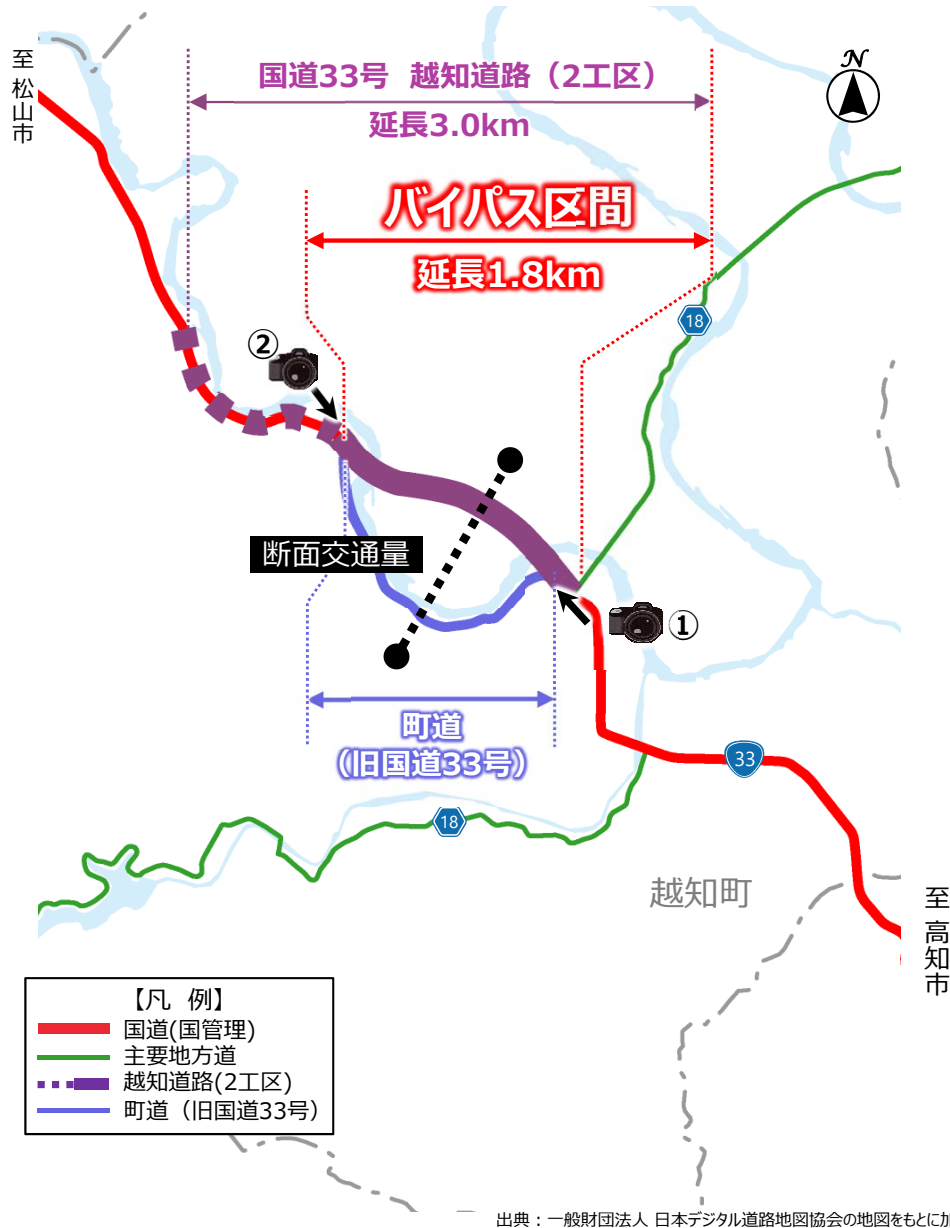


◆平面図

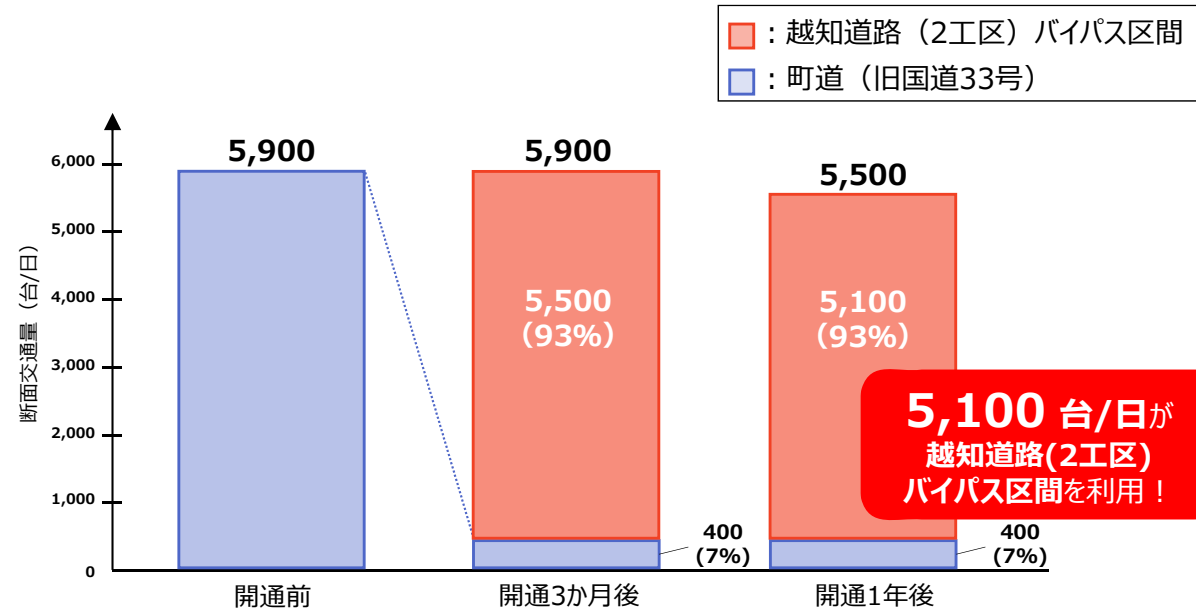


○今回開通した越知道路（2工区）バイパス区間と並行する町道（旧国道33号）の断面交通量は、**5,500 台/日**。
○その内、**5,100 台/日**が、安全で信頼性のある**越知道路（2工区）バイパス区間**を利用。

◆平面図



◆交通量の変化（平日）



※開通前：R4.12.1(木)、開通3か月後：R5.9.12(火)、開通1年後：R6.6.11(火)
※日交通量は7～19時までの12時間調査値に令和3年度全国道路・街路交通情勢調査の昼夜率(1.16)を乗じて算出

◆交通状況

写真①



写真②



【整備効果①】災害危険箇所の回避による安全・安心な交通の確保

- 国道33号は、**災害危険箇所や地すべり地が存在し、災害による通行止めリスクが高い状況**です。
- 今回の開通により、**越知町内の国道33号に存在する災害危険箇所の4割及び地すべり地を回避**することで、**通行止めリスクの低減による安全・安心な交通の確保**が期待されます。

◆国道33号の災害危険箇所や地すべり地の分布



写真② 岩盤崩壊の状況 (H22)



▼平成22年の災害における救急搬送状況



【物流事業者の声】

- 平成22年に岩盤崩壊の通行止めにより、大幅に迂回する必要があり、通常通りの所要時間で運搬できませんでした。
- バイパス区間の開通で、**落石等の心配が軽減され安心して運搬しています。**

資料) R6.8 ヒアリング調査結果

【救急隊員の声】

- 平成22年の岩盤崩壊の通行止め期間中に、仁淀川町から越知町へ重症者を搬送した際は、通行止め区間を担架で搬送したため、傷病者に大きな負担となりました。
- 今回の開通で災害による通行止めの発生リスクが低減され、**バイパス区間では安全・安心に傷病者を搬送できるようになりました。**

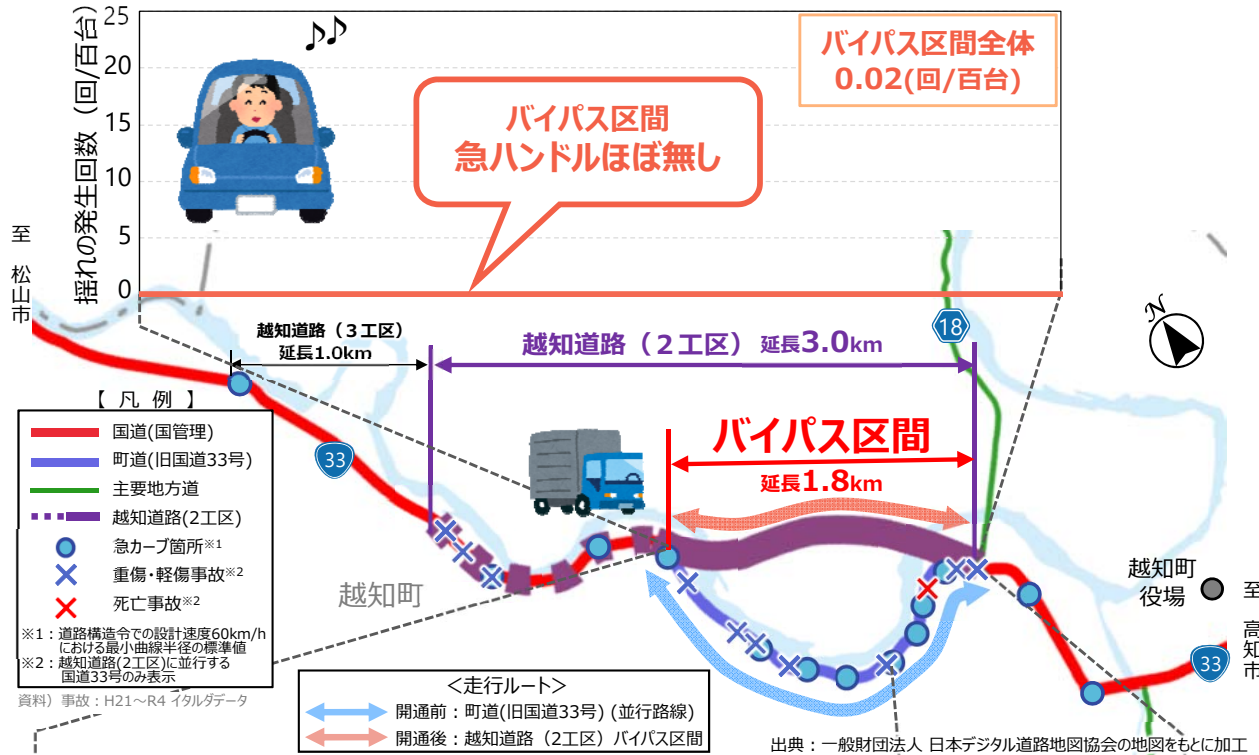
資料) R6.8 高知北消防本部仁淀川分署ヒアリング結果

【整備効果②】急カーブ箇所の回避による安全性の向上

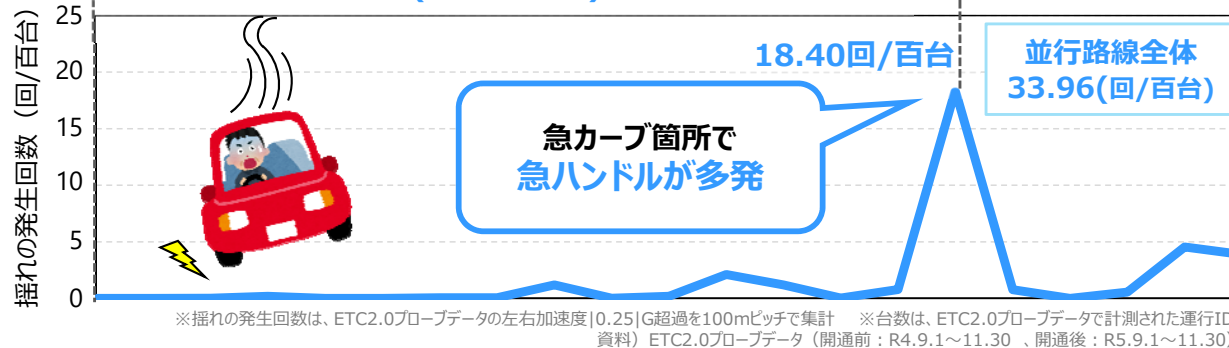
- バイパス区間に並行する町道(旧国道33号)は、**急カーブ箇所が多く、急カーブに起因する事故も発生**していました。
- 開通後は、**線形の良い**バイパス区間を通行することにより、**急ハンドルはなくなり、走行性が向上**しました。
- これにより、道路利用者の**約9割**の方が町道(旧国道33号)と比べて、**快適かつ安全に走行できるようになった**と効果を実感しています。

◆急カーブ箇所の走行状況

▼急ハンドルの発生回数（バイパス区間【開通後】）



▼急ハンドルの発生回数（町道(旧国道33号)【開通前】）

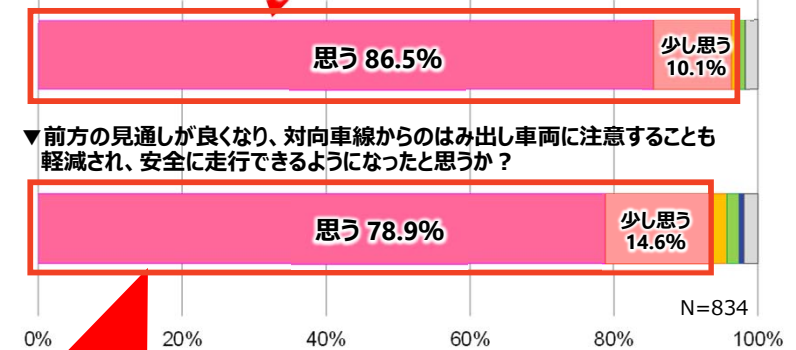


◆道路利用者の声

住民の約9割が
快適性の向上を実感

思う 思う 変わらない
少し思う 少し思わない 思わない 無回答

▼たくさんあったカーブがなくなり、快適に走行ができるようになったと思うか？



資料) 越知町、仁淀川町住民を対象に実施した郵送アンケート結果

住民の約9割が
安全性の向上を実感

▼その他の意見



時間も早く快適になり、県外、又は市内などから来る人達に自慢できるくらい良くなったと思います。通勤、通学などにも役立っていると思います。

資料) 越知町、仁淀川町住民を対象に実施した郵送アンケート結果

【物流事業者の声】

- バイパス区間はほぼ直線で道幅も広いので一定速度でスムーズに運転ができるようになりました。
- バイパス区間開通前の国道のような急カーブ箇所はないため、対向車のはみ出しや荷崩れの心配もなく、安心して運転できています。

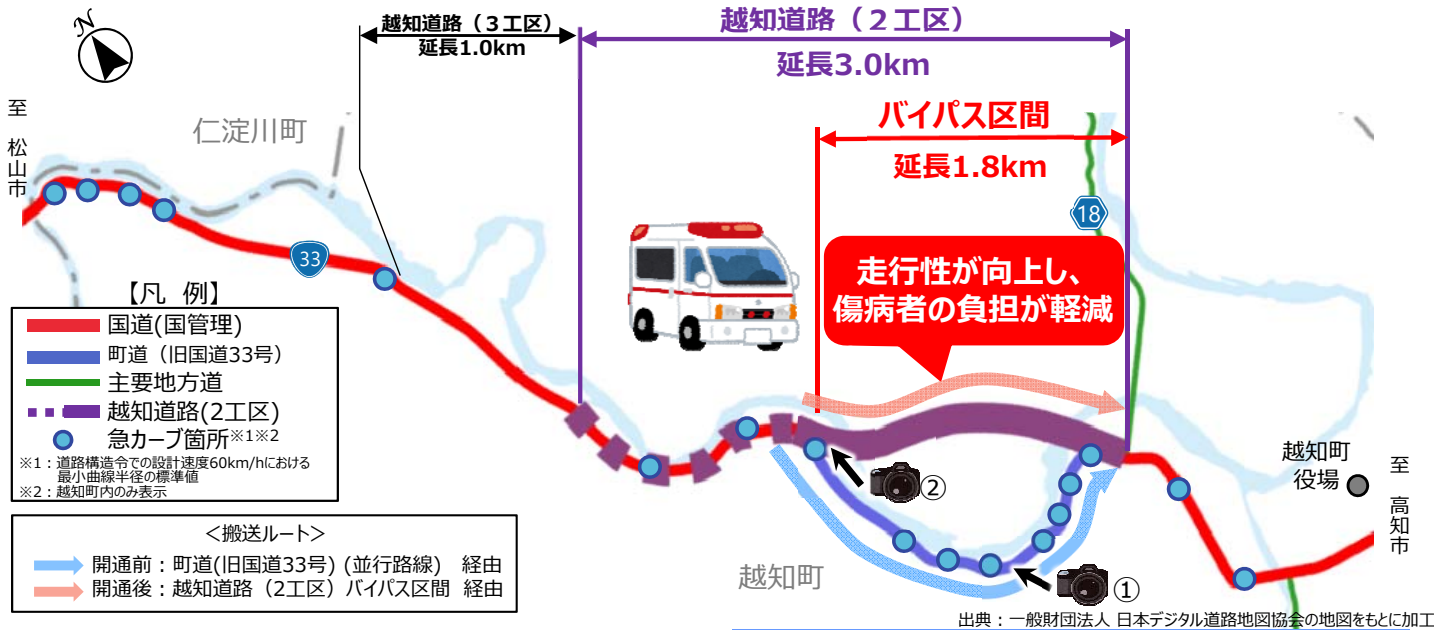


資料) R6.8 ヒアリング調査結果

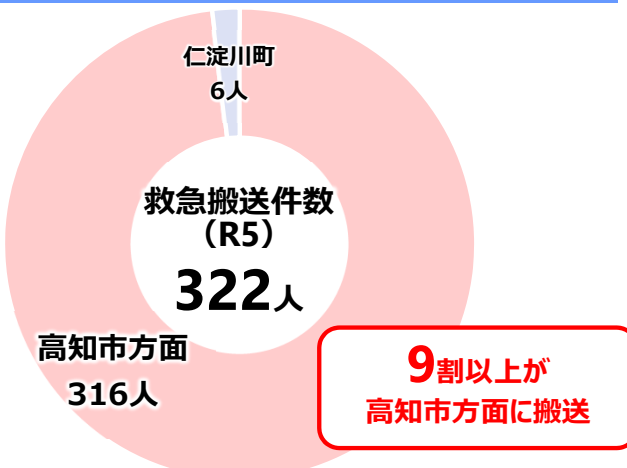
【整備効果③】走行性向上による救急医療活動の支援

- 開通前は、仁淀川町から高知市方面への救急搬送は**線形不良箇所が多い**町道(旧国道33号)を利用していました。
- 開通後は、**道路線形が安定しているバイパス区間を利用**して救急搬送を行っています。
- これにより大きな横揺れがなくなり、**走行性が向上**したことで**傷病者への負担軽減**につながっています。

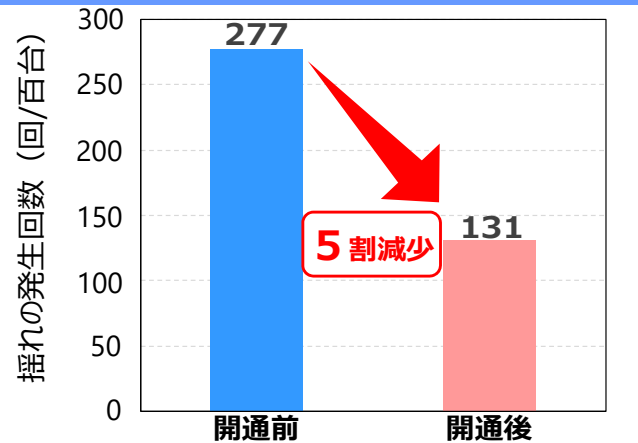
◆国道33号における救急搬送の状況



◆国道33号における救急搬送の状況



◆人体に影響を及ぼす揺れの発生回数 (高知市方面)



資料) 救急車プローブデータ (開通前: R4.9.28~10.19、開通後: R5.8.23~10.23)
※揺れの発生回数: 救急車にプローブ機器を設置し、収集した加速度データの左右加速度|0.15|G超過を集計

①救急車の走行状況(町道[旧国道33号])



②救急車の走行状況(バイパス区間)



【救急隊員の声】

- 開通後、救急搬送時(高知市方面)はバイパス区間を利用しています。
- バイパス区間の利用により大きな横揺れがなくなり、傷病者への負担軽減につながっています。
- バイパス区間開通前の国道は道路線形が悪いため一般車両を追い抜きしづらく、また対向車の中央線はみ出しを気にしながら運転していましたが、バイパス区間の利用で安全な追い越しができ、いち早い搬送を実感しています。



資料) R6.8 高知北消防本部仁淀川分署ヒアリング結果

【整備効果④】通勤環境の改善による安定した介護サービスの支援

- 高齢者の介護サービスは合同組合により仁淀川町・越知町・佐川町を対象に行っています。あがわ荘（老人ホーム）の**介護職員の約8割は仁淀川町以東**から通勤しており、災害に伴う通行止めの際には**対向車とのすれ違いが厳しく、所要時間が読めない経路を通勤**していたため、介護職員が出揃う迄の間、限られた体制で介護を行う必要がありました。
- バイパス区間の開通により介護職員が通勤し易くなることで、**介護サービス体制の向上**、ひいては今後の**人材不足の改善も期待**されます。

◆あがわ荘（老人ホーム）の介護職員の勤務経路



◆災害（通行止め）時の介護サービス体制の変化

開通前 1名の介護職員でより多くの方の介護が必要



開通後 適切な体制による安定した介護が可能



介護サービス体制の向上

【あがわ荘（老人ホーム）の介護職員の声】

- 災害による通行止め時の通勤経路は、道幅が狭いうえに通勤車両が多く、車同士のすれ違いに時間を要するため**所要時間が読みづらく1～2時間遅れて出勤**することになり、職員が揃うまでは少ない人数で**対応しなければなりません**。
- バイパス区間の開通によって、所要時間短縮や災害に伴う通行止めへの影響が減少するので**通勤し易くなった**と思います。
- また、介護職員の人材不足が課題のなか、さらに通勤し易くなることで、**高知市方面からの人材確保も期待**できると思います。

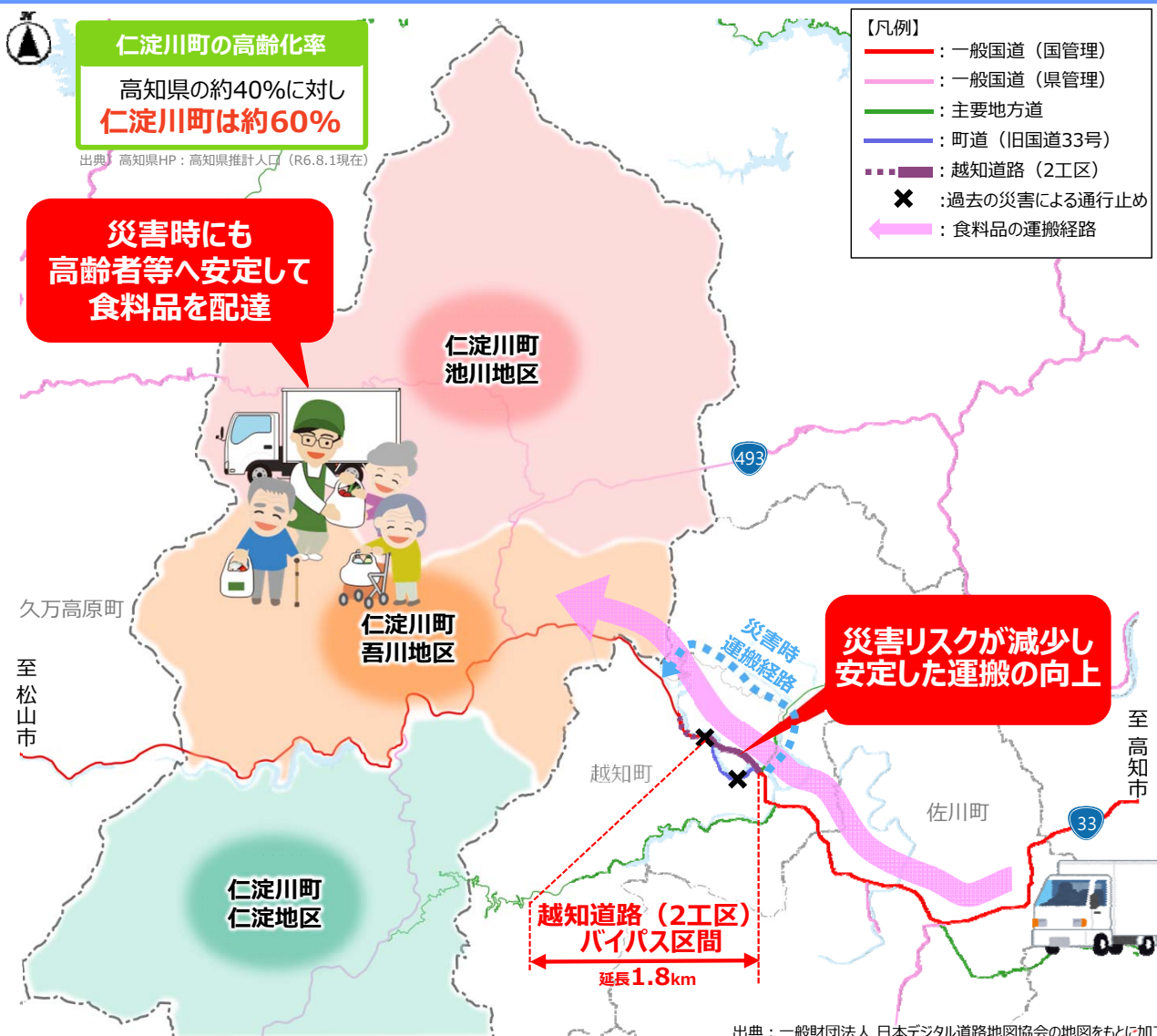


資料) R6.7 ヒアリング調査結果

【整備効果⑤】安定的な食料品運搬による買い物の支援

- 仁淀川町では65歳以上の高齢者の割合が高く、移動販売や注文宅配サービスを活用して食料品を購入しています。
- 移動販売や注文宅配の車両は池川・吾川・仁淀地区への運搬を行っていますが、災害で通行止めの際には**山間部の道幅の狭い道路を通行**するため、**食料品が時間通りに届かない**可能性がありました。
- バイパス区間開通によって、災害に伴う通行止めのリスクが減少し、**買い手のもとへ安定して食料品が届く**ようになりました。

◆仁淀川町への食料品の運搬状況



＜注文宅配＞

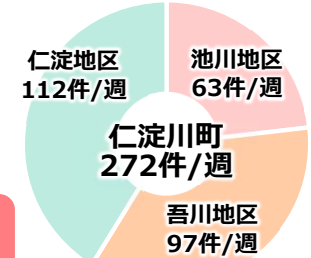
▼注文宅配トラック



ネット等で注文された食料品
を毎週決まった曜日、時間に配達

資料：こうち生活協同組合提供

▼注文宅配件数（仁淀川町）



資料：こうち生活協同組合提供

【注文宅配ドライバーの声】

○バイパス区間開通に伴い、利用者の方のもとにより安全かつより安定的に、時間のずれも少なく商品をお届けでき、サービスの向上につながっています。



資料：R6.8ヒアリング調査結果

＜移動販売＞

▼移動販売車



中山間地を中心に
移動販売車で巡回

資料：株式会社サンプラザHP

▼移動販売拠点数（仁淀川町）



※）R6.8時点の拠点数

資料：株式会社サンプラザ提供

【移動販売ドライバーの声】

- 国道33号通行止め時は、利用者がいるため迂回して販売場所に向かいますが、到着が大幅に遅れてしまうため、利用者の方にご不便をかけてしまいます。
- 通行止めのリスクが減少したことで、**時間通りに販売場所に向かうことができ、利用者が安定的に買い物**できるようになったと思います。



資料：R6.7ヒアリング調査結果